

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月17日(金)

事務事業		消防団車両整備管理事業			担当課	警防課	担当係	警防企画係	管理番号	4514
総合計画	大項目	4	安心とやすらぎを感じられるまち			事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			
	中項目	1	備えができ安全・安心なまちづくり			根拠法令 個別計画等	NOx・PM法			
	小項目	2	消防・救急体制の充実							
	主要プロジェクト	0	(未使用)							
事業概要		複雑多様化する災害に対応するため、老朽化した消防団車両を順次、最新の消防団車両へ更新することにより、各種災害に対応できる体制を整備する。また、災害活動における消防団員の安全確保のため、消防団車両26台の維持管理並びに車検整備や定期点検を行い、常時運行可能な状態を維持する。								
目的 ※何のために		複雑多様化する災害に対応し、災害時被害を軽減するとともに安全を確保するため。								
対象 ※誰・何を対象に		消防団車両。								
手段 ※どのように		最新の消防団車両への更新、維持管理及び車検整備する。 ※車両年次整備計画は令和14年度まで策定されており、今後の社会情勢を見極め車両更新を実施する。								
成果 ※何を求めるか		各種災害に対応できる体制を整備し、常時運行可能な状態に維持する。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目	細事業名		前年度決算額(円)
		一般会計	9	消防費	1	消防費	3	消防施設費	消防団車両購入事業	79,890
		一般会計	9	消防費	1	消防費	3	消防施設費	消防団車両維持管理事業	2,752,290
本事業の 主な業務		・消防団車両の更新							・	
		・消防団車両の維持管理							・	
		・車検整備							・	
		・消耗品の購入							・	
		・							・	
		・							・	

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画				第12分団車両更新	21分団車両更新	第20分団更新	第25分団車両更新
事業費	予算(現額)	3,160,000	3,214,000	19,058,000	20,589,000	3,365,000	23,817,000
	決算額	2,630,252	3,016,912	18,652,065	20,254,533	2,832,180	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	15,200,000	13,100,000	19,800,000
		他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	2,630,252	3,016,912	3,452,065	7,154,533	2,832,180
人件費	従事職員数(人)	0.75	0.75	0.65	0.85	0.75	0.70
	人件費相当試算※	5,834,250	5,836,500	5,109,650	6,915,600	5,821,437	5,691,944
総事業費試算		8,464,502	8,853,412	23,761,715	27,170,133	8,653,617	29,508,944

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
活動指標 1	車両更新率		目標値	%	100	100	100	100	100	100
			実績値		100	100	100	100	100	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所			車両年次整備計画に基づき目標値を設定 / 更新台数／更新予定台数						
	実績値の算出式									
活動指標 2	維持管理した消防団車両数		目標値	台	26	26	26	26	26	26
			実績値		26	26	26	26	26	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所			全消防団車両を維持管理するため、消防団車両数が目標値 / 消防団車両数						
	実績値の算出式									
成果指標 1	火災等の災害対応率		目標値	%	100	100	100	100	100	100
			実績値		100	100	100	100	100	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所			火災等の災害に対し、対応することが消防の責務であるため、目標値は100% / 災害対応数／災害数						
	実績値の算出式									
成果指標 2	車両トラブルにより災害に出動できなかった回数		目標値	回	0	0	0	0	0	0
			実績値		0	0	0	0	0	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所			各種災害へ出動し、対応することが責務のため、目標値は0とする。 / 災害への出動不能回数						
	実績値の算出式									
成果指標 3	1台あたりに係る管理経費		目標値	千円						
			実績値		325.56	340.51	913.91	1045	332.83	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	車両年次整備計画に基づき計画的に消防団車両を更新した。また、更新の際にトリクル充電器を装備した。さらに、法令に基づき車検整備、定期点検を実施した。車両、資器材に不具合が発生した際は、迅速に対応し常時運行可能な状態を維持した。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	車両年次整備計画に基づく車両更新、法令に基づく車検整備、定期点検を実施した。さらに、車両、資器材に不具合が発生した際は、迅速に対応し常時運行可能な状態を維持したことで、災害活動における迅速かつ円滑な災害活動を可能とした。
			評価者 課長補佐兼警防企画係長 坂本 浩

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	複雑多様化する災害に対処するため、車両年次整備計画に基づき適正な更新時期に消防団車両を更新した。また、消防団車両のバッテリー劣化を防止するためのトリクル充電器を装備し車両維持管理の万全を図ることで、迅速かつ円滑な災害活動を可能とし市民生活の安全安心を確保した。
			評価者 課長補佐兼警防企画係長 坂本 浩

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	複雑多様化する災害に対しの確に対応するため、適正な更新時期に消防団車両を更新する。また、消防団車両のバッテリー劣化を防止するためのトリクル充電器を装備し車両維持管理の万全を図ることで、迅速かつ円滑な災害活動を行い市民生活の安全安心を確保する。
達成状況及び その効果	車両年次整備計画に基づき適正に消防車両を更新できた。また、車両更新にあわせトリクル充電器が艤装されたことでバッテリーの劣化を防止し常時運用が可能となった。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	消防団車両整備管理事業	担当課	警防課	担当係	警防企画係	管理番号	4514
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者 次長兼警防課長 高野政之					

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	道路交通法改正後の普通免許に対応した3.5t未満の消防団車両へと仕様変更をしていく。さらに、資器材の選定は積載スペースを考慮した艤装を検討する。 更新の際は、バッテリーの劣化を防止するためのトリクル充電器を合わせて艤装する。
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	3.5t未満の消防団車両へ更新を継続する。車両価格の高騰が顕著であることから、車両更新に伴う予算の確保について、今後の社会情勢の変化を見据え積算する必要がある。

8. 評価指標グラフ

区分	指標名
<div><div><div>1</div><div>0.5</div><div>0</div></div><div><div>平成29年度</div><div>平成30年度</div><div>平成31年度</div><div>令和2年度</div><div>令和3年度</div><div>令和4年度</div></div><div><div>目標値</div><div>実績値</div></div></div>	
区分	指標名
<div><div><div>1</div><div>0.5</div><div>0</div></div><div><div>平成29年度</div><div>平成30年度</div><div>平成31年度</div><div>令和2年度</div><div>令和3年度</div><div>令和4年度</div></div><div><div>目標値</div><div>実績値</div></div></div>	